

# ベガルタ仙台 《ケミカルリサイクルの取り組み》

エネルギー (省エネ・再エネ)	水	移動手段・ 方法	調達・廃棄・循環 (サーキュラー対応)	カーボン オフセット
フード調達	フード調理・ 提供	フード廃棄 対策	消費者対応 (ハラル・ベジタリアン等)	啓発活動・ 運動
ジェンダー 対応	障害者対応	他民族・ 国際対応	世代対応 (高齢者・子供等)	地域・文化

基本情報	
企業・施設名	ベガルタ仙台
企業情報	プロサッカーチーム運営、スタジアム運営
サステナ推進方針	地域のファン・サポーター、ボランティアのみなさまと共にある「市民クラブ」であり、これに自治体や企業のみなさまと地域一丸でSDGsの達成に取り組み、地域課題の解決、安心安全なまちづくりに貢献する

ケミカルリサイクルの取り組み
<p>「ケミ・リサSENDAI」</p> <p>ベガルタ仙台では持続可能な社会の実現のため、プラ廃棄ゼロの活動を全国へ拡げることを目指し、スタジアムグルメで使用する容器の完全循環を目標とする日本プロスポーツイベント初の取り組み「ケミ・リサSENDAI」を通年で実施。環境施策にありがちな堅さを和らげるためTV番組「水曜どうでしょう」名物ディレクターをアンバサダーに迎え、(地球に)うれしー(自分も)たのしーをコンセプトに展開。再製品化されたプラスチックは、スタジアムグルメ容器やノベルティなどに生まれ変わります。また、他団体が参画しやすいマニュアルを整備し、HPで公開し再現性のある社会連携モデルを構築し、同年みやぎゼロカーボンアワード優秀賞を受賞し社会的インパクトを創出した。</p> <p>ベガルタ仙台ホームスタジアムでの稼働だけでなく、仙台オクトーバーフェスト、24時間テレビ、更にはBリーグの仙台89ERSでの出張ケミリサの実施など活動の場を広げている。</p>



使用済プラスチック容器から再製品化されたノベルティの一例

## ケミ・リサSENDAI